

「地元特有の廃棄物を原料にした建設資材の製造」

● 訪問企業の概要

運営建設企業：株式会社予州興業

所在地：四国中央市（東予）

資本金：45 百万円

業 種：土木工事業

従業員：47 名



(1) 進出した新分野の事業内容、時期

- ・ 製造分野（製紙スラッジ灰を使用した建設資材（道路用路盤材・コンクリート材料）の製造）（平成 19 年 1 月～）

(2) その分野を選定したきっかけ・理由

- ・ 四国中央市では、地域特有の産業廃棄物である製紙スラッジ灰について、環境の問題から新たな処分場建設が難しく、有効な再利用方法が模索されていた。
- ・ 建材販売を手掛ける(株)予州興業では、この製紙スラッジ灰を建設資材に再利用できると考え、事業に乗り出した。

(3) 事業・技術・製品の特長

- ・ 原材料である灰は製紙産業の安定した生産工程から排出されるため、建設資材の品質も均一のものが生産できる。
- ・ 性質上、軽量かつ吸水率も高いため、地盤改良効果が高く、路盤材として使用すればその保水力はゲリラ豪雨時に大きく活きると考えている。

(4) 進出時の体制

- ・ リサイクルプラント一式、ジェットパック車（粉粒専用運搬車）1台。
- ・ （一財）建設業振興基金の建設業の新分野進出・経営革新等モデル構築支援事業の補助金を利用し、プラントを建設した。
- ・ 専業従事者数5名。（うち2名はこのために新規雇用し、2名は土木部門から、1名はダンプ運転手を配置転換した）

(5) 事業の経過

- ・ 当初は愛媛県内に加え四国内の他県においても販売する計画であったが、販売許可取得に苦慮している。
- ・ 中国地方の業者に納入できることとなり、自社所有船にて運搬し、納入している。

(6) 苦労した事柄、解決策

- ・ 販路開拓が最も苦労した。初めは業界関係者にサンプルを配り、徐々に製品の良さを理解してもらった。
- ・ 輸出に関し、許可が得られた省庁がある一方で、審査に時間がかかっている省庁がある他、四国内の他県の販売許可取得に苦慮する等、行政の許認可手続きに苦労している。

(7) 新分野従事者の属性

- ・ 3名を工場に専従。
- ・ また業務の繁閑により、別の事業部門従事者の兼務は柔軟に行っている。

(8) 県の建設産業経営革新等助成事業以外に活用した公的助成制度

- ・ 建設業の新分野進出・経営革新等モデル構築支援事業補助金

(9) 現在の売上、今後の見通し

- ・ 現在の売上は、多い月で月商 1,000 万円程度。
- ・ 納入先は確保できているものの、大幅な設備投資は慎重にすべきと考えている。
- ・ 競合他社もあるため、まず、地元で排出されるスラッジ灰をしっかりと処理していくことを考えている。
- ・ 現在製紙会社 1 社の製紙スラッジ灰等を回収しているが、これに加えて、現在は他県に流れている他の製紙会社の灰も回収できるよう取り組んでいきたい。

